

「血小板減少症患者由来 iPS 細胞を用いた巨核球および血小板産生に関する研究」にご協力いただいたドナー様へ

平素より本研究にご協力いただき、誠にありがとうございます。

これまでにご提供いただいた体細胞から作製した iPS 細胞を用いて、巨核球とその巨核球から血小板を製造して、iPLAT1 臨床研究を実施しました。そしてこの度、将来的な再度の投与を見越して、さらに有効性や安全性を確認するため、臨床研究で採取・保存された血清サンプルも用いて、血小板に対する抗体生成の有無や、作成された巨核球および血小板の免疫学的特性を含む解析を行い、それらの解析結果に基づいた改良製剤の製造検証を進めることとなりましたのでお知らせいたします。この検証は共同研究機関である千葉大学でも実施する他、日本赤十字社近畿ブロックの協力のもとに行います。

ご不明点がございましたら、(2) 連絡窓口までご連絡下さい。

(1) 研究期間と研究組織

研究期間 : 倫理委員会承認日(2013年7月22日)~2027年3月31日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所、京都大学医学部附属病院

研究統括研究者 : 臨床応用部門・教授・江藤 浩之

研究責任医師 : 血液内科・教授・高折 晃史

共同研究機関 :

日本赤十字社(血小板の品質評価担当、抗 iPS 血小板抗体の検出解析)

慶應義塾大学(血小板の機能評価担当)

千葉大学(巨核球等のゲノム解析担当)

(2) 連絡窓口

ご不明の点等ございましたら担当コーディネーターまでご連絡ください。

担当コーディネーター : 向坂 智子

TEL : 070-6462-1590 (平日 10:00~17:00)

期間 : 2023年7月31日まで

以上